

令和2年3月2日

保護者様

田村市立船引南中学校長 真 船 毅

学校評価の報告について

梅花の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育へのご支援並びにご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、学校運営の改善の資料とするために、生徒や保護者のみなさまにアンケートを実施しました。そのアンケート結果をもとに教職員で教育活動に関して自己評価を行い、学校評議員やPTA 会長・副会長に自己評価についての評価(学校関係者評価)をいただきました。

つきましては、上記の件を学校評価として報告いたしますので、保護者や地域のみなさまと課題や対策を共有し、ともに子どもたちを育てていきたいと考えますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 配付物

- 生徒・保護者対象のアンケート及び自己評価 ----- 1部2枚
- 学校関係者評価 ----- 1部1枚

2 その他

- 地域のみなさまとも共有するために、学校 web にも掲載します。

【事務担当】鶴水達也(教頭) 電話 0247-85-2811

2019 年度 学校評価

田村市立船引南中学校

【生徒・保護者対象のアンケート及び自己評価】

【評価実施期間】9月 2月

【調査対象】(9月)生徒 97.1% 保護者 88.6% 教職員 100.0%

(2月)生徒 92.8% 保護者 91.3% 教職員 100.0%

【評価】(5)あてはまる (4)だいたい (3)あまり (2)あてはまらない (1)よくわからない

<問1 学校経営について>

(生徒) 学校は楽しいですか。

(保護者) お子さんは、楽しく学校に登校している。

(教職員) 充実した学校生活になるよう指導している。

【参考】全国学力学習状況調査(2019年4月)

質問番号 12

肯定的意見 (全国)81.9%

【肯定的意見(評価5・4)】

生徒 89.1% (前期比+5.3)

保護者 79.0% (-11.3)

教職員 100.0% (±0.0)

【改善的意見(評価3・2)】

生徒 10.9% (前期比-3.8)

保護者 16.1% (+8.0)

教職員 0.0% (±0.0)

【今後の手立て】

- 生徒と教員、生徒同士の望ましい人間関係を基盤とした教育活動を継続する。
- 認め、ほめて伸ばす指導を推進する。
- いじめ未対応 0(ゼロ)とする。

<問2 授業の充実について>

(生徒) 授業に真面目に取り組んでいる。

(保護者) お子さんは、授業を理解できている。

(教職員) 教材研究を充実させ、分かる・できる授業を展開している。

【肯定的意見(評価5・4)】

生徒 92.2% (前期比-1.9)

保護者 66.7% (+3.8)

教職員 100.0% (+14.3)

【改善的意見(評価3・2)】

生徒 6.3% (前期比+0.4)

保護者 31.7% (-3.8)

教職員 0.0% (-14.3)

【今後の手立て】

- 校内授業研究会の充実、「授業スタンダード」(県教委)をもとに授業力向上に努める。
- 全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査の結果を分析し、手立てを講じる。
- 「ふくしま活用力育成シート」、「定着確認シート」(県教委)を活用する。
- 校内基礎力向上テスト(国語、数学、英語)を充実する。
- 各種検定試験(英検、漢検など)の受験を推奨する。
- 数学科における少人数教育(TT、習熟度別学習など)を充実する。

<問3 学習習慣について>

- (生徒) 宿題や家庭学習を忘れずに取り組んでいる。
(保護者) お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。
(教職員) 家庭学習の習慣化が図られるよう指導している。

【肯定的意見(評価5・4)】

生徒 89.1% (前期比+0.9)
保護者 73.0% (+10.1)
教職員 100.0% (±0.0)

【改善的意見(評価3・2)】

生徒 10.9% (前期比-0.9)
保護者 27.0% (-8.5)
教職員 0.0% (±0.0)

【今後の手立て】

- 家庭学習を充実させるため『家庭学習スタンダード』(県教委)を活用できるよう周知する。
- 家庭学習の仕方、勉強方法を含めて指導する。

<問4 規範意識について>

- (生徒) 学校の決まりを理解し守っている。
(保護者) お子さんは、決まりを尊重し守っている。
(教職員) 規範意識を育てるよう指導している。

【参考】全国学力学習状況調査(2019年4月)
質問番号13
肯定的意見 (全国)96.2%

【肯定的意見(評価5・4)】

生徒 96.9% (前期比+1.3)
保護者 88.9% (-1.4)
教職員 100.0% (±0.0)

【改善的意見(評価3・2)】

生徒 0.0% (前期比-1.5)
保護者 11.1% (+3.0)
教職員 0.0% (±0.0)

【今後の手立て】

- 道徳教育を推進する。特に道徳科の授業を充実する。
- その時・その場での注意や指導を適切に行う。

<問5 あいさつ・礼儀・マナーについて>

- (生徒) 元気にあいさつをして、礼儀・マナーを大切にしている。
(保護者) お子さんは、元気にあいさつをして、礼儀・マナーが身についている。
(教職員) あいさつ・礼儀・マナーについて指導している。

【肯定的意見(評価5・4)】

生徒 89.1% (前期比-5.0)
保護者 85.7% (-1.4)
教職員 100.0% (+12.5)

【改善的意見(評価3・2)】

生徒 7.8% (前期比+1.9)
保護者 12.7% (-0.2)
教職員 0.0% (-12.5)

【今後の手立て】

- あいさつ・礼儀・マナーについて、継続して指導する。
- 全校集会での全体指導、その場での個別指導を継続する。

<問 6 教育相談について>

- (生徒) 先生方は、悩みや相談に親切に対応している。
(保護者) 教職員は、お子さんの悩みや相談に親切に対応している。
(教職員) 悩みや相談に積極的に対応している。

【肯定的意見(評価 5・4)】

生徒 71.9% (前期比-11.9)
保護者 71.4% (+6.9)
教職員 90.0% (-10.0)

【改善的意見(評価 3・2)】

生徒 15.6% (前期比+6.8)
保護者 23.8% (+2.8)
教職員 10.0% (+10.0)

【今後の手立て】

- 生徒・保護者の相談には、より丁寧に対応する。
- 常日頃から家庭との連携を適切に行う。
- 状況に応じた声かけを行い、教職員で情報を共有し、組織的に対応する。

<問 7 情報発信について>

- (生徒) 学校の各種たより、ホームページを見ている。
(保護者) 学校の各種たより、ホームページ、メールは適切に発信されている。
(教職員) 各種たより、ホームページ、メールによって情報発信は適切に行われている。

【肯定的意見(評価 5・4)】

生徒 46.9% (前期比-3.1)
保護者 90.5% (-3.0)
教職員 70.0% (-5.0)

【改善的意見(評価 3・2)】

生徒 50.0% (前期比+4.4)
保護者 9.5% (+3.0)
教職員 30.0% (+5.0)

【今後の手立て】

- 学校・学年・学級通信に変わる情報発信として、学校ホームページを充実させる。
- 緊急時など学校メールを適切に活用する。
- 各種たよりを学校ホームページに掲載する。

<考 察>

○ 前期比で 10 ポイント以上肯定的意見の割合が下がっている項目

(生 徒)問 6 先生方は、悩みや相談に親切に対応している。

(保護者)問 1 お子さんは、楽しく学校に通っていますか。

【対策】両項目共に割合が 70%程度で、他の項目よりも肯定的意見の割合が低い。生徒と教員、保護者と教員、生徒同士の望ましい人間関係を基盤とした丁寧な対応を大切にしたい。

○ 肯定的意見の割合が 70%以下の項目

(生 徒)問 7 学校の各種たより、ホームページを見ている。46.9%(前期比-3.1)

【対策】たよりの配付時には教員が説明を加える。また、iPad(情報端末)活用時にはホームページを意図的に閲覧させる。

(保護者)問 2 お子さんは、授業を理解している。66.7%(前期比+3.8)

【対策】全学年ともに実力テストでは県平均以上である。さらに、前期比+3.8 と保護者からの理解は増している。今後も、保護者の理解を得られるよう個に応じた指導を充実させ結果を数値で残していきたい。

2019 年度 学校評価

田村市立船引南中学校

【学校関係者評価】

【実施期間】2月

【調査対象】学校評議員(2名), PTA 会長・副会長(3名)

【評価項目】(1)自己評価の内容及び今後の手立て, 考察は適切かどうか。

(2)学校経営の総括は適切かどうか。

- 自己評価の内容及び今後の手立て, 考察は適切かどうか。
 - ・ 全体的に適切と思う。保護者の回答率の向上を図りたい。
 - ・ 学校経営ビジョン, 学校経営の総括は全て適切である。この通りの教育をされている貴校に地域の住民として信頼感をもっている。
 - ・ 学校関係者評価は新たな取り組みで, 今後継続してデータの蓄積を図ることが重要である。年 2 回の評価であり, 時期により回答の傾向が異なると考えられるため, 年度内の比較だけでなく, 時期ごと(例:昨年 9 月と今年 9 月の比較)の経年変化を分析することも有効だと考えられる。
 - ・ 評価内容については, 項目, 設問数とも適切である。項目を大きく変えることなく継続することが大切であるが, 状況を見ながら設問の追加, 入れ替えを検討する必要がある。
 - ・ 今後の手立ては, 教職員はもちろん, 可能な限り生徒及び保護者と共有することが重要である。課題や方向性を共有することでさらに良い学校づくりができるものと思われる。
 - ・ 前期と後期の比較で大幅にマイナスになっている理由を分析して対策をしてほしい。
 - ・ 各評価項目について課題を設定し対策が講じられている。子どもの成長が目的なので対策を実践してほしい。また, 対策が適切であったかを 1 年後に評価できると良い。
 - ・ 評価が良くない項目については, 生徒・保護者・教員のコミュニケーションを増やせば教育効果は高まり, 改善されると考える。
 - ・ 情報発信について
 - 配付プリントが親子のコミュニケーションツールとして活用できるようにしたい。
 - 週の予定が毎週メールと紙媒体で送られてくるので助かっている。確認しやすい。
 - 学校 web は子どもが見るというよりは親が「子の様子, 学校の様子を見る」という方が多いと思われる。
 - 授業参観した際に, 校内に他学年の絵などが掲示してあり, より多くの人に見てほしいと思った。名前を伏せて学校 web に掲載してはどうか。

- 学校経営の総括は適切かどうか。
 - ・ 適切である。
 - ・ 学力の向上では、学年別に課題が把握されている。基礎学力の向上を基本として、得意分野を伸ばす取り組みも重要である。
 - ・ 少人数の学校では、周囲とのコミュニケーションが課題となる場合が多いので、多くの人々が集まる場での発表や集団行動の機会を確保することも大切と考える。
 - ・ 生徒指導では、いじめの未解消があった事が大変残念である。生徒及び保護者の考え方が多様化し、学校としての対応も難しいところもあるが、いじめという事実と向き合い、学校の対応が適切であったか、他にできることはなかったかなどを再考し、今後に活かしていただきたい。
 - ・ 働き方改革により、教職員の負担が増加している部分もあるのではないのでしょうか。効率的に業務を行うことと生徒と熱心に向き合うことを両立することは難しいことと考える。教職員の熱意に敬意を表するとともに、今後も子どもたちのため活躍されることを期待する。
 - ・ 超過勤務時間が昨年度と比較して大幅に削減されている。報告のように意識改革のあらわれだと感じる。リフレッシュして元気な姿で生徒の前に立ってほしい。
 - ・ 不祥事根絶に向けて外部講師を活用し、他職種の取り組みを勉強することは有意義である。また、不祥事を根絶し生徒・保護者との信頼関係を基盤として教育活動をする事が目的である事を確認してほしい。
 - ・ 各種検定試験について、受験人数が少なく中学校会場で実施できない時があるので、他の学校と合同で受検できると助かる。

- その他
 - ・ 船引南中学校は、地域との結びつきが強く、あいさつがしっかりできる伝統がある。他の学校にはない素晴らしい伝統である。ここで育った子どもたちがいずれ地域の担い手として戻ってくることを期待し、地域との連携をさらに深める取り組みをすすめていただきたい。
 - ・ 新年度職員組織も変わり、教職員の名前と顔が分からない時がある。最初の参観日に、プリントでも良いので紹介があると分かりやすい。